

放課後子ども教室の報告

近年、子ども達は直接的な体験の機会が少なくなっていると言われています。変化していく社会の中で、子ども達が生き抜く力を育てるためには、異学年や地域の大人と交流しながら様々な体験をすることが必要です。

そのために行っている事業の1つが「放課後子ども教室(各地区平日開催)」です。

◆放課後子ども教室(各地区平日開催)とは

平日の放課後の時間、地域の大人が指導者となり子ども達に様々な体験活動の機会を提供する事業です。



◆なぜ放課後子ども教室が始まった？

長井市では児童の約3割が学童クラブを利用しています。「学童クラブに通っている子と通っていない子が放課後に遊ぶ場が無い」「家に帰っても近所に遊ぶ子どもがいない」といった声を受け、平成27年度から市全体で放課後子ども教室(各地区平日開催)に取り組んでいます。

H31. 4. 1現在、長井市内の小学生1,242名に対して382名の児童が学童クラブを利用しています(約30%)。
1~3年生に限れば、小学生625名に対して293名の児童が学童クラブを利用しています(約46%)。

◆長井市の体制について

コーディネーターという役割を各地区1~2名の方をお願いしています。その方が中心となって地域の指導者を集め、活動を企画・運営していただいています。また、PTAや子ども会、地区長会など様々な団体と協議の場を持ち、地区のコミュニティセンターや学校にご協力いただきながら実施しています。

◆Q&A

①学童クラブとの違いは？ ⇒役割と頻度が異なります。

学童クラブ：留守家庭のお子さんの生活の場(学校のある日は開所)

放課後子ども教室：全ての児童の学びと交流の場(月1回程度)

②参加したい時は？

各回開催の1~2週間前にチラシが配られます。チラシに記載の方法でお申し込みください。

「放課後子ども平野教室」について

平野地区コーディネーター 平吹登・平吹京子

1. 地域の中での「放課後子ども平野教室」の目的

将来、子ども達は親から自立して社会へ飛び立ちます。その時何が大切で必要な事かと考えるとき、それは社会にでたときに、他者との良好な人間関係を作れるかどうかという事です。

その素地は、10歳前後の脳の完成までの間にまず必要なのです。余り制約のない楽しい環境の中、異年齢の人たちの中で、いろんな経験を通して培っていきけるようにすることがこの事業の目的だと考えています。

2. 「放課後子ども平野教室」の概要

- 開催日 6月～翌年2月までの月1回の第3水曜日（一斉下校の日）
*8月は野外体験活動
- 会場 小学校の体育館や多目的ホール、コミュニティセンターなど
- 時間 放課後の午後2時45分頃～4時00分頃
- 対象者 平野小学校の全校生（学童クラブ利用者を含む）…申込制

約1時間

運動や工作、実験など

活動終了後、下校 or 学童クラブへ



3. 「放課後子ども平野教室」のいままで(回顧録)

平成27年度参加者235人（一度でも参加した児童の割合62.1%）だったが、平成28年度に参加者227人（44.6%）となり減少傾向が続くかと不安を抱いた。そこで、平成29年度からPTA総会で事業の説明をさせていただいたところ、効を奏して、平成29年度参加者317人（58.8%）、平成30年度参加者396人（68.9%）と増加した。令和元年度参加者も396人（71.4%）と順調に延びている。「野川ハイキング」は保護者の送迎が必要だったため土曜日に実施していたが、参加者が非常に少なかった。その現状を打破しようと地域で話し合った結果、市のスクールバスを利用して平日に実施したところ参加者が飛躍的に増加した。学校・家庭・地域との連携・協働によることの結果である。

4. 現在の運営で課題だと感じている事

- 学童クラブ及び放課後子ども教室を一体的に、又は連携して実施していく事によって全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごせるようになる。今後このような運営を継続していきける仕組みづくりが必要であると思います。
- 長井市では子ども達の放課後及び土曜日の居場所として、「学童クラブ」・「放課後子ども教室」・「土曜らんど」があり、児童の体験活動や心の豊かさを養っていくためには、この3つをどの様に効率よく組織して構築していくかが課題であると思います。
- 学校・家庭・地域が連携して児童を育てていく事が何よりも大切であり、今後よりいっそう綿密な連携が望まれます。

5. やりがいだと思っていること

I. コーディネーター

この事業は、発足から関わっているが、年々やり易く充実してきている。関係部署との連携も順調に進んできている。

子どもたちは、1年進級するごとに成長し、その頑張る姿を私たちの前に披露してくれる。地域で、町で会った時など、親しそうに声掛けをしてくれる。活動を通して、確実に成長する子どもたちの姿・笑顔を見ることができることがやりがいだと思います。



II. スタッフ

新しい事の発見や平野っ子とのふれあうことがとても楽しいです。

毎回、子どもたちの“できた”の声と笑顔を見る時に幸せを感じます。そして子ども達からパワーをもらって元気になっています。幼い頃からの顔見知りだったり、近年引っ越して来た子だったり、いろんな子ども達とのふれあいは心を暖かくしてくれます。

6. 今後どんなふうに進めていきたいか

まとまった1時間15分を充実して使える内容にして、暖かい時期は、体育館でのスポーツで汗を流し、寒い時期は、多目的ホールでの文化的、科学的活動に挑戦したいと思っています。そして、子どもの安全安心を見守って子ども達が生き生きと活動に取り組めるよう支援していきたいと思っています。異年齢の中で、自分を見失わず他者との関係を築いていけるよう援助できればと思います。

7. 各学校・コミュニティセンターから一言

平野小学校: 平野小学校の子どもたちは、放課後子ども教室をいつも楽しみにしています。さまざまな楽しい体験活動ができるだけでなく、体験を通してたくさんの友達と交流したり、地域の人と触れ合ったりすることができるからです。年々参加人数が増え、参加者の輪がどんどん広がってきています。これも毎回企画・運営をしてくださる平吹コーディネーターさんをはじめ、スタッフのみなさんのおかげだと感謝しております。今後ともよろしく願いいたします。

平野コミセン: 5年前、教育委員会より「平日の日中に地域で子ども達に遊びを教えてくれる大人を探してくれないか」という指示を受けて、平吹登さんに相談したところ、ご夫婦で快く引き受けていただきました。毎月のメニューを考えるのも一苦労だったと思います。何よりも、子ども達を楽しい気分のまま安全に帰宅させるというのも責任に負担が掛かったことと思います。毎年思っている事ですが、大変お疲れ様です。ありがとうございます。

8. コーディネーターから地域の方をお願いしたいこと

放課後子ども平野教室にご理解ご協力ありがとうございます。作品を展示したり持ち帰ったりしたら、ぜひ見ていただき、楽しく話題にしていただければ大変うれしいです。また、当日に「今日何をしたの？どうだった？」とお子さんに声掛けをしていただけたらと思います。今後ともよろしく願い致します。



平野地区

6月～10月の暖かい時期には子ども達の体力づくりとなる運動、11月～2月の寒い時期は子ども達の想像力や興味関心を引き出す工作や実験が行われています。平野の豊かな自然を知ってもらいたいと、毎年8月に野川まなび館周辺で「野川ハイキング」も行っており、年間を通じて様々な活動が行われています。

平成27年度

ドッジボールや工作、月の満

ち欠けの実験など7回実施

参加者延べ235名

平成30年度

ドッジボールや工作、実験、

野川ハイキングなど9回実施

参加者延べ396名

平成28年度

バトミントン、工作、野川

ハイキングなど9回実施

参加者延べ227名

令和元年度

ドッジボールや実験、工作、

野川ハイキングなど9回実施

参加者延べ404名

平成29年度

バトミントンや工作、実験、

野川ハイキングなど9回実施

参加者延べ317名



お問い合わせ先：

長井市教育委員会文化生涯学習課 生涯学習係

電話：0238(84)7677

FAX：0238(88)5883